

事後評価シート

調査研究課題名	今後の社会資本整備についての基礎的研究 ～社会資本の維持更新費の将来推計へ向けて～ ～社会資本整備と国民との関わりについての基礎的研究～
担当者	主任研究官 大谷悟、長野幸司 研究官 増田圭、関谷浩孝
当初目標と目標達成度	<p>当初目標は、既存の社会資本の維持更新費用の将来推計の課題整理、及び国民の関与に関して、学説等の動向調査、住民投票の論点整理、経済学的手法による分析等を行うことであった。</p> <p>維持更新費推計に関しては、海外の現状調査を加味することができたこともあり、より課題が明確にできた。また社会資本整備に関する住民投票の状況及び動向について整理できた。さらに中央政府の関与及び官民協力について、経済学的手法を用いて必要性を説明できることがわかった。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>維持更新費の将来推計は過去いくつか試みられているが、推計の基礎となる維持管理の現状に関して国内外の実態を把握できたことは、今後の研究の基礎を固める意味で妥当であるとする。住民投票は近年各所で行われており、今後社会資本整備関連も対象とされる場合が多くなることが予想され、時宜を得たまとめができたとする。近年 NPO の育成や活用を通じて、官民の協力及び役割分担が進んでいるが、経済学的に必要性を論証することが出来たことから、研究内容として妥当であるとする。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>それぞれの研究について、文献資料の収集、海外事例調査、講演会、客員研究員の活用といった多様な形で調査研究を行うことができ、妥当なものであった。</p>
成果と活用（予定）	<p>今後の、社会資本の維持更新費の将来推計、及び社会資本整備と国民との関わりについての研究の基礎として活用する。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 機関誌「PRI Review 第4号（2002年春季）」に海外調査の概要、「PRI Review 第3号（2001年秋季・冬季）」に住民投票の課題について掲載済み 報告書を省内外の関係者へ配布及び研究所 HP にて公開（予定）